

秋田赤十字乳児院

広報誌 第57号

理 念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん



コロナに負けるな！ Withコロナの生活

新型コロナウイルス感染対策をしながらの毎日。今年度の行事の多くは縮小されたり、動物園やショッピングセンターへの院外保育も中止となったりしています。新しい生活様式の中でも、子ども達がワクワクするような時間が持てるように様々な工夫をして、みんな元気いっぱい、楽しく生活しています。

9月に秋祭りを実施。ヨーヨーや金魚すくい、お面や駄菓子。どれにも興味津々キョロキョロキョロキョロ。
金魚たちは乳児院の玄関で元気に泳いでいます。



撮影前の最後のチェック。
「わたし、かわいい？」



よちよち歩きながら一生懸命完走した僕（左）
と不正の瞬間を激写された私（右）



ハンバーガーショップで
ドライブスルー

ひよこ組

毎日泣いたり笑ったり、とっても賑やかなひよこ組♪
どんどんできることが増えるみんなを、職員一同ワクワクしながら見守っています。

寝返りやたっちの練習、頑張るぞ～!

(佐々木(夕))



おちばふみふみ、楽しいな～♪

ぱんだ組

「ニャンニャンいた!」「くるくる(風車)った!」
お話が上手になってきたぱんだ組のお散歩はいつもハイテンション!これからも寒さに負けずいっぱいお外で遊ぼうね。

(佐々木(明))



ふむふむ、これが「イチヨウ」ね。



ばんび組

寒くなってもお外が大好き!パワー全開のばんび組。
運動会では緊張にも負けず、力強い走りを披露しました。お庭に行っても、「よーいどん、しょう!」とやる気満々♪えっ?まだ走るの!?子どもたちの体力は底が知れません。

(大島(皇))



私についてこれるかな!?

ことい組

秋祭り、運動会、ハロウィンパーティ、秋の味覚がいっぱいのクッキングなど、楽しいことが盛りだくさんだった秋。どれも元気いっぱい楽しみました!行事の前は「あと何回寝たらやるの?」と毎回ワクワクドキドキ。次はクリスマス♪サンタさんが来るのを今か、今かと待っています。

(丸谷)



お菓子をもらったけど、いたずらしたいなあ～♪

「春夏秋冬」～つぎの春への一歩が始まる～

令和2年4月、秋田県から「フォスタリング機関」を受託し、本県の子どもたちの笑顔のために里親支援を全力で頑張ろうと誓った矢先、新型コロナウイルス感染症が拡大し、前期分の里親研修の中止が早々に決定した。

院外での活動自粛が続き、出鼻を挫かれ焦りが募った春。『はじめての里親制度～子どもたちの笑顔のために～』を自主制作し、里親制度についての情報をYoutubeを活用して発信した。カメラと照明の熱量に緊張し、汗だくになった夏。後期分の里親研修募集が解禁となり、1回分の里親研修の受講者が過去最高の**43組**まで延び、嬉しさや安堵が混じった秋。受講者のみなさんと本県にいる可愛い子どもたちが幸せになってほしい！と強く思った冬。

平成28年から続けてきた里親の普及活動の種が芽を出し、ようやく実を結びつつあると実感している。受講を修了した皆様へ最後のお願いです。

「里親登録申請のほど、よろしくお願ひします！」



[Youtube 動画はこちらからどうぞ↑↑](#)

そして今、少し前に里親登録を済ませたみなさんの先輩と子どもとのマッチングがスタート(^)/

今、幸せになろうとしている一組の子どもと里親さんの交流が順調に進み、無事に委託できるように、精一杯サポートしてまいります!!

善意寄付

NHK 歳末たすけあい募金様より、頂戴した寄付金でイルミネーションライトを購入させていただきました！



ありがとうございました。



編集後記 ～スタッフから一言～

秋祭りで、金魚すくいをされた金魚ちゃんたち。一時は、高ストレスだったと思いますが元気になっております。当院では、側溝掃除の際に捕まえたザリガニ以来の飼育です。子どもたちには、命を大切に作る心も育てほしいと思いお世話しています。

(田口)



■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)